

平成 18 年度 移動市長室 おおさき宝探し未来トーク

8月24日の田尻地域を皮切りに、平成18年度移動市長室「おおさき宝探し未来トーク」がスタートしました。

旧7市町がそれぞれに培ってきた歴史・文化・伝統・風土、そして人を大崎市の宝と捉え、今後のまちづくりに結びつけていくため、市長が市内各地域に出向いて、各種団体や市民皆さんとまちづくりについて懇談します。

いただいた意見や提言は、これからの市政運営に反映させ、開かれた市政と協働のまちづくりを推進していきます。

今後の開催日程	
三本木地域	10月24日(火)
岩出山地域	11月7日(火)
鳴子温泉地域	11月21日(火)
鹿島台地域	12月1日(金)
松山地域	1月11日(木)
古川地域	2月1日(木)



おおさきブランド戦略会議「飛翔会議」を開催します

「飛翔会議」は、大崎市の豊富な地域資源と民間活力を最大限に活用し、魅力あるまちづくりを推進するため、産業・福祉・教育などのテーマを設けて、有識者やその分野で活躍されている人たちに提言などをいただくものです。大崎市のまちづくりはスタートしたばかりです。ぜひ、この機会に大崎市の進むべき方向と一緒に考えてみませんか。多くの皆さんのご参加をお待ちしています。

- 第3回テーマ「おおさき食産業戦略」

日時 9月9日(土) 午後4時～

場所 田尻スキップセンター

第3回目は「おおさき食産業戦略」をテーマに、宮城大学事業構想学部教授・大泉一貫氏の講話、食産業にたずさわる方などによる公開ディスカッションを行います。

※会場のスペースの都合により、先着順とさせていただきます。

第1部【講話】

演題 「食の産業化 大崎市の場合」

講師 宮城大学事業構想学部教授 大 泉 一 貫 氏

第2部【公開ディスカッション】

提言者 三 輪 宏 子 氏 (地域ブランド開発コンサルタント)

今 野 文 隆 氏 (デリシャスファーム社長)

清 水 智 子 氏 (前みやぎ生協理事)

塚 田 義 弘 氏 (太子食品㈱古川清水工場長)

コーディネーター

大 泉 一 貫 氏 (宮城大学事業構想学部教授)

- おおさき宝探し未来トークin三本木参加者募集

日 時 10月24日(火) 午後1時～3時

場 所 三本木総合支所

対 象 まちづくりに関心のある三本木地域内の団体（サークル）及び個人

テーマ ①市民参画・行政改革 ②都市・交流基盤整備 ③教育・文化 ④防災・安全 ⑤産業振興 ⑥保健・医療・福祉 ⑦自然・生活環境 ⑧その他

申し込み 参加希望の団体・個人は、所定の申込用紙（任意の用紙や様式でも可）に下記①～⑧の事項を記入し、各総合支所総務課または総務部市政情報課へ直接または郵送、ファクシミリ、E-mailのいずれかの方法でお申し込みください。

①団体（サークル）名または氏名 ②代表者名 ③会員数及び当日参加人数 ④代表者（個人）住所 ⑤連絡先電話番号 ⑥団体（個人）の活動内容 ⑦話たいテーマ ⑧意見や提案の内容（具体的内容を箇条書きし、意見書や提案書等があれば添付してください。）

※個人の場合は、①、④、⑤、⑦、⑧を記入してください。

※申込用紙は三本木総合支所窓口と市政情報課で配布。ホームページからもダウンロードできます。

締切り 10月4日(水) 必着 ※申し込み多数の場合は公開抽選

〒989-6188 大崎市古川七日町1番1号
総務部市政情報課 ☎23-5091 ☎24-9595

〒989-6321 大崎市三本木字大豆坂24番3号
三本木総合支所総務課 ☎52-5830 ☎52-5843

●ホームページ <http://www.city.osakimiyagi.jp/>

●E-mail shisei@city.osakimiyagi.jp

副市長就任あいさつ



たか はし のぶ やす
第一副市長 高橋 伸 康

旧古川市出身。
1947年9月生まれ。
1970年4月宮城県職員採用。
農林振興課長、大河原産業振興事務所長、
農林水産局長などを歴任。
今年4月から大崎地方振興事務所長を努め、
7月、宮城県職員を退職。大崎市助役就任。

『特 進』

日ごろ、私たちが何気なく歩いている道にも多少のアップダウンはありますが、つまずくことも息を切らすこともなく、生活の一部に組み込んでいます。

ところが、複雑化してきた日本の現代社会においては、身近なところで「え！まさかあの人が・・・。」といった事件が起き、上り坂や下り坂でない坂もあるのだと教えられることもあります。

私自身もこれまでの人生で二度、自分が原因ではない「真っ逆さま」を経験しました。そのため、座右の銘を「七転八起」に変え、「ひたすら前へ」を合言葉に、日々精一杯生きることを心掛けております。

そんなとき、私の辞書にはない「まさか」が出し抜けにやっけてまいりました。

お会いした回数は数回ですが、刹那刹那にあふれ出る人間力が魅力で、「トップリーダーに最適の人だ」と、陰ながら応援していた人からの副市長就任の要請です。2時間、食い入るように向き合った市長選のマニフェストから、熱い思いが乗り移ってきました。

私は、いのち・あい・よろこび「大崎市民総参加の感動を奏でるまち」を創るために、全身全霊を懸け、滅私公僕に徹してまいります。

7月18日、2人の副市長が就任し、現在市内各地を精力的に飛び回っています。すでにお会いした人もいるかもしれませんが、改めて、お二人にこれからの抱負を寄せていただきました。

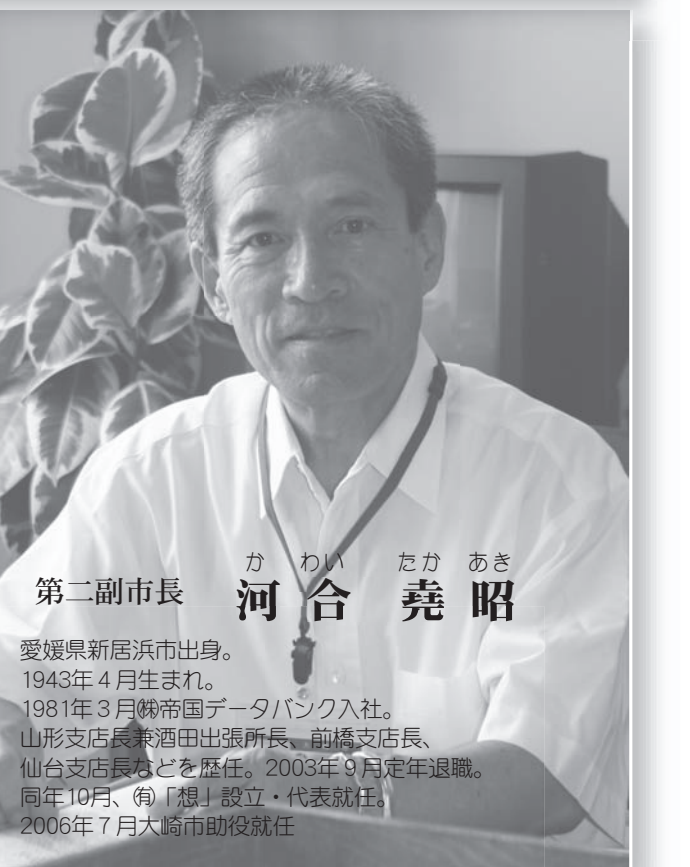
『和を持って尊しと為す』

副市長に就任して、早いもので1か月が過ぎました。この間、伊藤市長の「行動力」、「決断力」のすばらしさと市職員の「やる気」に後押しされ、与えられた職責を全うすべく昼夜を問わず奮闘しております。

私の生活信条は「常に、相手の立場に立って物事を考える」ことです。相手の立場に立つということは、相手の話をよく聞くことにあります。就任して以来、多くの皆様とお話しする機会があり、「市役所においでの際は、ぜひ部屋にお立ち寄りください」と申し上げております。ところが多くの人的ご返事が「いや、なかなか敷居が高くてねえ。」というものでした。そんなことはございません。ぜひ気軽にお立ち寄りいただき世間話をしながら、地域の出来事や動き・課題などを教えてください。お待ちしております。

合併協議会で策定した「新市建設計画」のまちづくりのテーマは、「今未来の子供たちへ 私たちができること～大きな虹が輝く個性豊かなまちづくり～」です。大崎市には、これまで培ってきた7色の歴史・伝統・文化があります。それぞれが個性豊かで魅力あふれる大きな宝物です。この一つひとつに磨きをかけ、それらの宝物を一つの束に紡ぎ上げることで、虹のようなすばらしい輝きを放つと確信しております。

どこにも負けない輝かしい大崎市を創造するため、『和を持って尊しと為す』を肝に銘じ、誠心誠意がんばってまいりますので、市民の皆様の絶大なるご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。



か わい たか あき
第二副市長 河合 堯 昭

愛媛県新居浜市出身。
1943年4月生まれ。
1981年3月㈱帝国データバンク入社。
山形支店長兼酒田出張所長、前橋支店長、
仙台支店長などを歴任。2003年9月定年退職。
同年10月、㈲「想」設立・代表就任。
2006年7月大崎市助役就任